

鈴鹿サーキット 次世代エネルギーカーイベント開催のご報告



FIA ALTERNATIVE ENERGIES CUP
ソーラーカーレース鈴鹿 8月5日(金)・6日(土)



2011 Ene-1 GP SUZUKA 8月7日(日)





公式プログラム

【イベント概要】

- イベント名称：FIA ALTERNATIVE ENERGIES CUP
ソーラーカーレース鈴鹿
- 競技格式：国際格式
- 日程：2011年8月5日(金) 公式車検/フリー走行
6日(土) 4時間耐久レース決勝
5時間耐久レース決勝
- 開催クラス：5時間耐久レース
FIAオリンピック/ドリーム/チャレンジ 計3クラス
4時間耐久レース
エンジョイI/エンジョイII 計IIクラス
- 主催：株式会社モビリティランド
一般社団法人日本自動車連盟
- オフィシャルパートナー：

 パナソニック株式会社	 株式会社ミツバ	
 株式会社第三銀行	 株式会社三重銀行	 株式会社ホンダ四輪販売三重北
- 後援：三重県/鈴鹿市/鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会
鈴鹿市観光協会/鈴鹿商工会議所
- 会場：鈴鹿サーキット 国際レーシングコース(4輪用:一周5.807km)
及びその一部
- 天候・動員：8月6日(土) 晴 30.9℃ 東南東の風1.8m/s 8,000人

鈴鹿でのソーラーカーレース、20回目の夏。

太陽光を電気エネルギーに変換し、モーターの力で走行するのがソーラーカー。その競技としての歴史は古く、1985年にスイスで開催されたのが第1回のソーラーカーレースでした。その7年後、世界で初めてレーシングコースを使って開催されたソーラーカーレースが「ソーラーカーレース鈴鹿'92」。F1など世界の自動車競技を統括するFIA(国際自動車連盟)公認の国際格式競技として開催されました。

以来鈴鹿サーキットはソーラーカーレースの聖地として、学生チームから大企業がバックアップするチーム、そして海外チームなど国内外から多くのチームがチャレンジして来ました。

そして迎えた20回目の今大会。世界が注目する伝統のイベントとして、今年も鈴鹿の夏にソーラーカーレースがやってきました。



SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

■ FIA OLYMPIA

ゼッケン	活動主体	チーム名	都道府県	出場回数
001	学校	芦屋大学 ソーラーカープロジェクト(B)	兵庫県	19
002	学校	AIT チャレンジプロジェクト	愛知県	3
003	企業	ENEMAX-x	京都府	20
004	その他	ロッキー&SAT'S	静岡県	3
005	学校	金沢工業大学 夢考房	石川県	18
006	学校	松阪工業高校 機械研究クラブ	三重県	14
007	その他	静岡ソーラーカークラブ	静岡県	3
008	その他	TMR Solar Car Team	大阪府	初
009	学校	名古屋工業大学 ソーラーカー部	愛知県	20
010	学校	鈴鹿工業高等専門学校	三重県	20



■ DREAM

ゼッケン	活動主体	チーム名	都道府県	出場回数
1	学校	OSU 大阪産業大学	大阪府	16
2	その他	アステカ・レーシングチーム	長野県	10
3	企業	JTEKT SOLAR CAR TEAM	大阪府	19
4	学校	ポリテクカレッジ滋賀-SPD	滋賀県	12
5	学校	芦屋大学ソーラーカープロジェクト(A)	兵庫県	19
6	学校	呉武田学園呉港高等学校	広島県	13
7	学校	大阪工業大学 Team REGALIA	大阪府	5
8	学校	大森学園高校 自動車部	東京都	9
9	学校	飛龍高等学校 自動車部	静岡県	13

■ CHALLENGE

ゼッケン	活動主体	チーム名	都道府県	出場回数
21	その他	Team MAXSPEED	三重県	7
22	企業	HALクラブ	三重県	13
23	その他	TEAM SUNLAKE	滋賀県	18
24	学校	team 宮工(宮崎工業高校)	宮崎県	11
25	その他	バンダサンチーム	神奈川県	20
26	学校	紀北工業高等学校 生産技術部	和歌山県	15
27	学校	堺市立堺高等学校 科学部	大阪府	19
28	その他	柏会	静岡県	12
29	学校	立命館大学 EV-Racing	滋賀県	13

■ ENJOY I

ゼッケン	活動主体	チーム名	都道府県	出場回数
51	学校	平塚工科高校 社会部	神奈川県	4
52	学校	宇都宮工業高校 科学技術研究部	栃木県	10
53	学校	香川高専ソーラーカーTEAM	香川県	14
54	学校	石川県立羽咋工業高等学校 メカトロ部	石川県	17
55	学校	布施工科高校 省エネルギー自動車研究部	大阪府	8
56	学校	伊賀白鳳高校 未来Factory	三重県	15
57	学校	岡山商科大学附属高等学校 自動車部	岡山県	5
58	学校	岐阜県立可児工業高等学校	岐阜県	11
59	学校	呉港高等学校 エコテック	広島県	13
60	学校	今宮工科高校 ソーラー研究部	大阪府	15
61	学校	埼玉県立狭山工業高等学校 電子機械科	埼玉県	10
62	学校	西脇工業高等学校 機械工学部	兵庫県	15
63	学校	石川県立七尾東雲高等学校 メカトロ部	石川県	5
64	学校	大阪市立生野工業高等学校 機械工作部	大阪府	7
65	学校	大阪市立泉尾工業高等学校 自動車部	大阪府	7
66	学校	大阪府立 西野田工科大学 機械研究部	大阪府	17
67	学校	大分工業高校 自動車部	大分県	7
68	学校	兵庫県立尼崎工業高等学校	兵庫県	13
69	学校	千葉県黎明高等学校 工学部	千葉県	5
70	学校	三重県立津工業高等学校 機械研究部	三重県	12
71	学校	大阪府立堺工科高校 ソーラーカー部	大阪府	17

■ ENJOY II

ゼッケン	活動主体	チーム名	都道府県	出場回数
101	その他	若葉会ソーラーカープロジェクト	大阪府	5
102	その他	ENA	愛知県	3
103	その他	JAGつくばソーラーカーチーム	茨城県	9
104	企業	Sun Seals	大阪府	2
105	その他	TEAM THOUSAND	長野県	8
106	企業	オリンパス RS	東京都	12
107	その他	ソーラーカーチャレンジ「チーム江東」	東京都	初
108	学校	DREAM FACTORY	岡山県	5
109	学校	愛知工科大学 ソーラーカー部	愛知県	6
110	学校	近畿大学高専 ソーラーカー	三重県	16
111	学校	熊本大学 工学部ものづくりセンター	熊本県	3
112	学校	山口大学 ソーラーカーチーム	山口県	6
113	学校	鹿児島工業高等専門学校	鹿児島県	2
114	学校	神戸高専 ソーラーカーチーム	兵庫県	5
115	学校	神奈川工科大学 ソーラーカープロジェクト	神奈川県	8
116	学校	中日本自動車短期大学	岐阜県	14
117	学校	福岡工業大学 ソーラーカープロジェクト	福岡県	9
118	学校	北陸職業能力開発大学校 ソーラーカーチーム	富山県	3
119	学校	龍谷大学 ソーラーカープロジェクト	滋賀県	11
120	学校	和歌山大学 SolarCarProject	和歌山県	6

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

5時間耐久レース

ドリームクラスはチェッカー寸前までの激闘! 芦屋大学が大阪産業大学の3連覇を阻み、オリンピッククラスとあわせて2クラス制覇!

国際規格の「オリンピック」、国内最高峰の「ドリーム」、ソーラーパネルの出力が800wに制限される「チャレンジ」の3クラス混走で行われる5時間耐久レースには27台が出走しました。最速のドリームクラスでは、3連覇を狙うOSU 大阪産業大学が予選2番手からスタートでトップにジャンプアップ、ライバルの芦屋大学ソーラーカープロジェクト (A) とともに3番手以下を大きく引き離し、トップ争いを展開。このままチェッカーかと思われた残り約10分。大阪産業大がS字で、さらには芦屋大学がチェッカー直前のダンロップコーナーで相次いでストップ。バッテリーを使い果たし力尽きてしまいます。しかし、周回数の多さから芦屋大-大阪産業大の1-2フィニッシュとなりました。芦屋大はオリンピッククラスとあわせて2クラスを制しました。チャレンジクラスはTeam MAXSPEEDが総合3位にも入る速さで優勝。また国際的リードドライバー篠塚健次郎選手がドライブした静岡ソーラーカークラブはオリンピッククラス2位と健闘しました。

	総合	オリンピック	チャレンジ
優勝	芦屋大学ソーラーカープロジェクト (A)	芦屋大学ソーラーカープロジェクト (B)	Team MAXSPEED
2位	OSU 大阪産業大学	静岡ソーラーカークラブ	柏会
3位	Team MAXSPEED	ロッキー&SAT'S	堺市立堺高等学校 科学部



芦屋大学ソーラーカープロジェクト (A)



芦屋大学ソーラーカープロジェクト (B)



Team MAXSPEED

4時間耐久レース

入門クラスの色彩が強いエンジョイ I (高校・高専) とエンジョイ II (その他) の2クラスで行われた4時間耐久レースは、ポールポジションからスタートした平塚工業高校社会部がトップを快走。序盤で車輪トラブルに見舞われたものの見事に挽回し、昨年に続きエンジョイ I クラス2連覇を果たしました。エンジョイ II クラスはオリンパスRSが優勝を飾りました。

	総合
優勝	平塚工業高校 社会部
2位	オリンパスRS
3位	宇都宮工業高校 科学技術研究部



4時間耐久レース スタートシーン



平塚工業高校 社会部



オリンパスRS

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

【公式プログラムご協賛各社】



- 株式会社サンゲツ
- 住友電装株式会社
- 株式会社第三銀行
- 株式会社トーエネック
- 中村特殊印刷工業
- 株式会社長谷川建装
- パナソニック株式会社
- 株式会社ホンダ四輪販売三重北
- 株式会社三重銀行
- 株式会社ミツバ

A4 カラー 24p 1,000部発行

【サーキットビジョンご協賛各社】



- 株式会社第三銀行
- パナソニック株式会社
- 株式会社ホンダ四輪販売三重北
- 株式会社三重銀行

【スポット看板ご掲出】



株式会社ミツバ

【賞金ご協賛】



株式会社ミツバ

ミツバ賞

■ 5時間耐久レース 「総合」、「オリンピア」、「チャレンジ」の1～3位に賞金

	総合	オリンピア	チャレンジ
1位	50,000円	50,000円	50,000円
2位	30,000円	30,000円	30,000円
3位	10,000円	10,000円	10,000円

■ 4時間耐久レース 「総合」、「エンジョイ1」の1～3位とエンジョイ。初出場1位に

	総合	エンジョイ1	エンジョイ1
1位	50,000円	50,000円	30,000円
2位	30,000円	30,000円	—
3位	10,000円	10,000円	—

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

【映像】

- NHK津 …… 鈴鹿高専チーム密着取材
- テレビ静岡 …… 静岡労働金庫チーム密着取材
- 石川テレビ …… 金沢工業大学チーム密着取材
- TOKYO MX TV …… チーム江東密着取材
- 江東ワイドスクエア …… チーム江東密着取材（江東区行政番組）
- 株式会社小糸製作所 …… 会社概況DVD



【紙誌面】

- 中日新聞
- 朝日新聞
- 毎日新聞
- 読売新聞
- 伊勢新聞
- 東京中日スポーツ
- スポーツ報知
- 江東区報
- JAFスポーツ
- GSユアサ社内報
- 芦屋大学広報
- 大阪産業大学広報



【ウェブ】

- 大阪産業大学ホームページ
- 芦屋大学ホームページ
- Team MAXSPEED web
- Zero to Darwin Projectホームページ



SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

SOLAR CAR RACE WEEKEND À La Carte



国際的ラリードライバー篠塚健次郎選手も笑顔で車検場へ



フォーミュラカーレースでも活躍する三浦愛選手(右)は大阪産業大学快走の立役者



まさにテールtoノーズ!
大阪産業大学(前)と芦屋大学のバトルは大いに見ごたえがありました



芦屋大学のピットワークはプロのレーシングチームを思わせるスピーディーさ



江東区環境学習情報館「えこっくる江東」のナビゲーター「たすけくん」も応援に駆けつけました



遊び心あふれる横断幕がグランドスタンドに



大願成就!



みんなで祝福 この一体感がソーラーカーの魅力

SUZUKA CIRCUIT

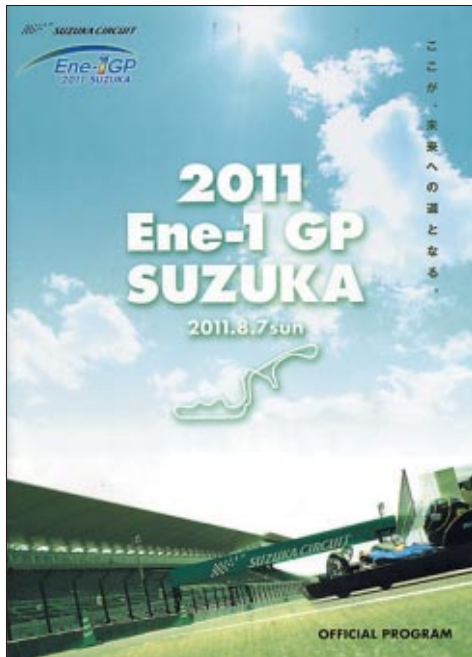
7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733



公式プログラム

【イベント概要】

- イベント名称：2011 Ene-1 GP SUZUKA
- 日 程：2011年8月7日(日)
- 開 催 種 目：KV-40チャレンジ 全国大会
EVパフォーマンスチャレンジ 全国大会
- 主 催：株式会社モビリティランド
- オフィシャルパートナー：

Panasonic パナソニック株式会社	MITSUBA 株式会社ミツバ	
<small>キラリと光るあなたの銀行</small> 第三銀行 株式会社第三銀行	三重銀行 株式会社三重銀行	Honda Cars 三重北 株式会社ホンダ四輪販売三重北
株式会社トーエネック/株式会社長谷川建装 株式会社サンゲツ/中村特殊印刷工業		
- 後 援：経済産業省/観光庁/三重県/鈴鹿市/三重県教育委員会
社団法人全国工業高等学校長協会/社団法人中部経済連合会
日本EVクラブ/鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会
鈴鹿市観光協会/鈴鹿商工会議所
- 会 場：鈴鹿サーキット 国際レーシングコース
(4輪用:一周5.807km) 及びその一部
- 天 候・動 員：8月7日(日) 晴 31.8℃ 南南東の風1.8m/s 9,800人

未来への新たな一歩が鈴鹿から— Ene-1 GP初開催!

鈴鹿サーキットは、モビリティ(人の移動に関わる領域の総称)を通じた新たな価値創造に向けて、新環境配慮型エネルギーイベント「Ene-1 GP」を初開催いたしました。

徐々に社会に浸透しつつあるEV(電気自動車)による「EVパフォーマンスチャレンジ」に加え、大きな話題を呼んだのが新競技「KV-40チャレンジ」。EVがバッテリーを動力源とするのに対し、KV-40は充電式単3電池40本を動力源とする新たなカテゴリーで、優れた性能を発揮するPanasonic充電式EVOLTAを全チームが使用することがレギュレーションで定められての開催となりました。

「EVパフォーマンスチャレンジ」は、さまざまな競技形態での総合性能を競う形式。

いっぽう、「KV-40チャレンジ」は、鈴鹿サーキットフルコース1周のタイムアタックを2回行い、その合計タイムで順位が決定される競技方式での争いとなりました。この間電池への充電は禁止。すなわち充電式単3電池40本で12km近くを走らなければならず、車体づくりのノウハウに加えて、アップダウンに富んだサーキットにおいては、限られたエネルギーをいかに配分するかが大きなカギとなります。それらを支えるのは人と人とのつながり、可能性、そして無限大の夢。

2011年8月。次世代に向けての第一歩が鈴鹿サーキットから踏み出されました。



SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

EVパフォーマンスチャレンジ 全国大会

バッテリーとモーターを動力源とするEV(電気自動車)により、3つの複合種目の総合ポイントで順位を競うユニークな「EVパフォーマンスチャレンジ」。まさに総合力が試される興味深い競技形式です。

【
ク
ラ
ス
分
け
】

■ ストッククラス
一般車両をEVに
コンバートしたクラス



■ オープンクラス
競技専用EV車両
(フォーミュラタイプ等)



【イベント内容】

- ① 0~200mタイムアタック(ホームストレート)
- ② S字タイムアタック(ヒルクライム)
- ③ ストッククラス…e-kiden 60分ロングディスタンス(フルコース)
オープンクラス…15分フルアタック(フルコース)



【参加マシン(ストッククラス)のディテール】



一般車両そのままのシルエットです



動力源となるバッテリーを各車工夫して搭載しています



コックピットやエンジンルーム内のモーターがEVであることを主張します



SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

KV-40チャレンジ 全国大会

KV-40チャレンジのコンセプトは「高校生・大学生によるモビリティを通じたモノづくり甲子園」。若者がクルマと親しみ、エネルギーを考えるきっかけとなる場を提供することで、モノづくり・エコ・次世代エネルギーをリンクさせたモノづくりイベントです。

「甲子園」のキーワードが示すとおり、高校生以上の学生の参加しやすさと競技の奥深さを主眼に車両規則・競技内容が決定されました（もちろん学生だけでなく一般の方の参加も可能です）。3つのクラスが設定され、参加者のレベルに応じて選択が可能です。



【クラス分け】

KV-1クラス	KV-2クラス	KV-3クラス
車両重量制限なし	車両重量制限なし	車両重量35kg以上
キャパシタ搭載可	キャパシタ搭載不可	キャパシタ搭載不可
部門分けなし	キャパシタ搭載不可	キャパシタ搭載不可
	a 高等学校部門 b 大学・高専・ 専門学校部門 c 一般部門	a 高等学校部門 b 大学・高専・ 専門学校部門 c 一般部門

【車体サイズ(各クラス共通)】	
全高	1.8m以下
全長	3.5m以下
全幅	1.7m以下
トレッド	0.4m以下
ホイールベース	1m以上

※ キャパシタ…蓄電池効率を高める装置

【参加マシンのディテール】



フルカノードタイプ(左)とオープンタイプに大別されます



ドライバーはほぼ寝た状態で運転



KV-3は35kg以上、KV-1/2は車重制限なし



エコラン用の極細タイヤが主流



Panasonic製充電式単三電池「EVOLTA」40本が動力源

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

EVパフォーマンスチャレンジ エントリーリスト

■ EV (10台)

No.	クラス	参加チーム	車両名	チーム所在地
1	ストッククラス	OSU EVプロジェクト	Spirit of OSU	大阪府
2	ストッククラス	繁原EVプロジェクト うさぎとかめ	ウエルマー☆EVミラ	大阪府
3	ストッククラス	ZEVEX Racing Team	ZEVEX EVミゼット「-W	京都府
4	ストッククラス	トヨタ東京自動車大学校	TOYOTA Sports EV TWIN	東京都
5	ストッククラス	チームIWAKI	DREAM 7 (RX-7FD3S)	愛媛県
6	ストッククラス	がれーじTOM	TOM'S INSIGHT	愛知県
7	ストッククラス	中日本自動車短期大学専攻科車体整備専攻	エレクトリック ハイゼット	岐阜県
8	ストッククラス	team TGMV EV Himiko	TGMV EV Himiko	大阪府
9	ストッククラス	ミツバSCR+	EVeryday	群馬県
10	オープンクラス	静岡理科大学 SFP	SFP EV	静岡県

KV-40チャレンジ エントリーリスト

■ KV-40 (53台)

No.	クラス	参加チーム	車両名	チーム所在地
1	KV-1	関市立関商工高等学校	SS EM	岐阜県
2	KV-1	四十雀	文四郎	神奈川県
3	KV-1	金匠+プリン	e-kimuchi	愛知県
4	KV-1	チーム"ヨイシヨット!"ミツバ	HyperTESLA	群馬県
5	KV-1	Team OpenStar with Prince	SEAL-SEIKOU	愛知県
6	KV-1	ZDP	MSR SUZUKA SP	東京都
7	KV-1	中日本自動車短期大学	マンボースマッシュ	岐阜県
8	KV-1	PROJECT MONO ◇ TTDC	MONO-XX	愛知県
9	KV-1	AIT Challenge Project	AIT-NKE	愛知県
11	KV-2 a 高等学校部門	堺市立堺高等学校 科学部	おさがりくん	大阪府
12	KV-2 a 高等学校部門	伊賀白鳳高校 未来Factory	KUNAI	三重県
13	KV-2 a 高等学校部門	大阪府立茨木工科高校 機械研究部	ウーパールーパー	大阪府
14	KV-2 a 高等学校部門	愛知工業高校 化学工業科	白虎: (ファイブ)	愛知県
15	KV-2 a 高等学校部門	宇都宮工業高校 科学技術研究部	UK-hope 2010	栃木県
16	KV-2 a 高等学校部門	高知県立高知東工業高等学校自動車工作部α	なすB	高知県
17	KV-2 a 高等学校部門	高知県立高知東工業高等学校自動車工作部β	桃色珊瑚EV	高知県
18	KV-2 a 高等学校部門	大阪府立佐野工科高等学校	SANOTECH DK02	大阪府
19	KV-2 a 高等学校部門	松本工業高校原動機部	春雨	長野県
20	KV-2 a 高等学校部門	飯田工業高校A	Wisdom	長野県
21	KV-2 a 高等学校部門	伊勢工業高校機械部	GReeeN KV-40	三重県
22	KV-2 a 高等学校部門	松阪工業高校機械研究クラブ	SKDDM-VEN	三重県
23	KV-2 a 高等学校部門	大阪市立生野工業高校 機械工作部	疾風	大阪府
24	KV-2 a 高等学校部門	Challenger TOMIKO	疾駆	富山県
25	KV-2 a 高等学校部門	刈谷工業高校	A2C	愛知県
26	KV-2 a 高等学校部門	長野工業高校環境システム班	S.P.E Ver.8	長野県
27	KV-2 a 高等学校部門	紀北工業高等学校 生産技術部	SPIRIT OF 紀北	和歌山県
28	KV-2 a 高等学校部門	福岡市立博多工業高等学校	白	福岡県
29	KV-2 b 大学、高専、専門学校部門	産業技術短大 CIT-Project 1	Spirit of CIT	兵庫県
30	KV-2 b 大学、高専、専門学校部門	鈴鹿高専エコカープロジェクト	まーくんSP	三重県
31	KV-2 c 一般部門	TechnicalSessionSMF	EVOLTA RACER	大阪府
32	KV-2 c 一般部門	MTB66	MOC	群馬県
33	KV-2 c 一般部門	東山EcoProject	Swallow	愛知県
34	KV-2 c 一般部門	PROJECT MONO ◇ TTDC	MONO-X	愛知県
51	KV-3 a 高等学校部門	チーム四中工	Spirit of 四中工	三重県
52	KV-3 a 高等学校部門	大阪市立都島工業高校 NYレーシング	ツインターボ中西	大阪府
53	KV-3 a 高等学校部門	伊勢工業高校 電気技術部	ID-5	三重県
54	KV-3 a 高等学校部門	王寺工業 エネわん! Project	王工 エネわん CAR	奈良県
55	KV-3 a 高等学校部門	三重県立津工業高等学校 機械研究	Load Star	三重県
56	KV-3 a 高等学校部門	桑名工業高等学校3年4組課題研究	課題研究車両5号	三重県
57	KV-3 a 高等学校部門	公文国際学園	kk-g-01	神奈川県
58	KV-3 a 高等学校部門	飯田工業高校B	CFR	長野県
59	KV-3 a 高等学校部門	愛知県立豊橋工業高等学校 機械部	龍 閃 (りゅうせん)	愛知県
60	KV-3 a 高等学校部門	大阪府立西野田工科高等学校 機械研究部 A	メッツフォルテ バイ E-5	大阪府
61	KV-3 a 高等学校部門	大阪市立生野工業高等学校 電気科	チャレンジャー ゼロワン	大阪府
62	KV-3 b 大学、高専、専門学校部門	ホンダテクニカルカレッジ関西 EV同好会	ウッドブルー1	大阪府
63	KV-3 b 大学、高専、専門学校部門	長野県工科大学短期大学校	ドリース (Dream&Peace)	長野県
64	KV-3 b 大学、高専、専門学校部門	Team O.C.T	チキチキレーシング2号	大阪府
65	KV-3 c 一般部門	東富士エコー同好会~王女とにぎやかし~	でか四駆	静岡県
66	KV-3 c 一般部門	走れ!三輪車	Aiming-	愛知県
67	KV-3 c 一般部門	ちびEインターナショナルEV部	電気ふるしき	愛知県
68	KV-3 c 一般部門	Team OpenStar with Prince	Prince-World	愛知県
69	KV-3 c 一般部門	K	きみあき	大阪府
70	KV-3 c 一般部門	PROJECT MONO ◇ TTDC	MONO-X^3	愛知県

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

「Ene-1 GP SUZUKA」初開催!

新環境配慮型エネルギーイベント「Ene-1 GP SUZUKA」が鈴鹿サーキット国際レーシングコース(1周5.807km)を舞台に初開催された。このイベントではバッテリーを使用した車両で競技を行う「EVパフォーマンスチャレンジ」に加え、初の試みとなる競技で、パナソニック製の充電式単3電池「EVOLTA」40本だけで鈴鹿サーキットを1周×2回し、その合計タイムで順位を競う「KV-40チャレンジ」を開催した。この「KV-40チャレンジ」は、「高校生・大学生によるモビリティを通じたモノづくり甲子園」のコンセプトの通り、全国の高校、高専、専門学校、大学チームを中心とした全50チームが出場した。

EVパフォーマンスチャレンジ ストッククラスは「OSU EVプロジェクト」が優勝

市販の車をバッテリーで走行するように改造した車の競技「EVパフォーマンスチャレンジ」。一般車両のストッククラスとレース専用車両のオープンクラスに分けられる。競技は200mの加速を競う「0-200タイムアタック」、S字でのコーナリングを競う「S字アタック」に加えて、60分の走行の間に5回のピットストップ(1回のストップで最低3分義務付け)をこなすゴールを目指す「e-kiden60分ロングディスタンス」(ストッククラスのみ)、15分連続走行する「フルアタック」(オープンクラスのみ)の各クラス当たり3種目が行われ、その結果に与えられるポイントの合計で順位が決まる。最後に行われた「e-kiden60分ロングディスタンス」は、バッテリーの力をギリギリまで使うため、チェッカー目前は速度が落ち、ハラハラの展開となった。そんな中、優勝候補の「OSU EVプロジェクト」がストップしてしまう波乱があったが、「0-200タイムアタック」と「S字アタック」で確実にポイントを獲得していた同チームが見事総合優勝を決めた。オープンクラスは、1台のみの参加となった「静岡工科大学SFP」が高いパフォーマンスを披露した。



OSU EVプロジェクト(ストッククラス)



静岡工科大学 SFP(オープンクラス)



e-kiden60分ロングディスタンス(ストッククラス)

KV-40チャレンジ 初の優勝チームは「四十雀」!!

「KV-40チャレンジ」は、キャパシタ(蓄電式の出力増幅装置)が許されているKV-1クラス、キャパシタが使えないKV-2クラス、さらに車両重量が35kg以上に制限されるKV-3クラスに分けられ、KV-2と3クラスはそれぞれ一般、大学・高専・専門学校、高校の3部門に分けられている。

多くのチームがまずはダンロップコーナーの坂(7.8%勾配)を登りきる事、次は1周20分を切る事を目標として走行する中、事実上の総合優勝争いとなるKV-1クラスは、西ストレートで最高時速88kmを記録、1周5分程度で戻ってくるすばらしいパフォーマンスを示すチームが現れた。そのチームはエコランなどで15年以上の経験を持つチーム「四十雀」。1回目は1周5分0秒683を記録。2回目も5分31秒335と、2位を大きく引き離すタイムで見事初開催初優勝を獲得した。

総合2位は多くのチームが使用するモーターのメーカー「ミツバ」の社内同好会チーム「チーム"ヨイショット!"ミツバ」で、1回目6分25秒709、2回目6分13秒111だった。

総合3位はKV-2クラス優勝の和歌山県の「紀北工業高等学校生産技術部」。KV-3クラスの優勝は総合8位の地元「三重県立四日市中央工業高等学校」の「チーム四中工」と、高校生チームの活躍が目立った。



四十雀(KV-1クラス)



紀北工業高等学校生産技術部(KV-2クラス)



チーム四中工(KV-3クラス)

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

Ene-1 GP KV-40チャレンジ参加者のコメント

- KV-1 四十雀
(1回目5分0秒683。2回目5分31秒355。総合優勝)
総監督 房間義明さん

「私たちのチームはエコカーのチャレンジが大好きな個人が集まったチーム。今回新車を作ったが、試走時に不具合があったので、2007年に作った車体をEne-1用にモデファイして出場しました。第1回大会で優勝できてとてもうれしい。他のチームに追いつかれないように頑張ります。」



- KV-1 チーム"ヨイショット!"ミツバ
(1回目6分13秒111。2回目6分25秒709。総合2位、クラス2位)
ドライバー 齋藤勝彦さん

「ミツバの社内同好会です。出走前にトラブルがあって、部品を変えてスタートできたけど、2回目はスタートしてから壊れてしまった。その後は約半分の電池容量を残して、キャビンだけで走行した。鈴鹿仕様のモーターを作ればトップ争いができるが、今回は直後に行われるSUGOに合わせたモーターで来た。だから2位で満足。1986年からやってきたので、技術に自信はある。」



- KV-1 関市立関商工高等学校
(1回目800mリタイア。2回目31分41秒569)
ドライバー 長縄和真さん

「車体をメインに考えて作ってきたが、電気系でトラブルってしまった。キャビンの選定がまずかった。2回目の走行はキャビンを外してKV-2クラスの仕様で走った。何度も手を入れて作り上げたマシンだったので残念だったけど、鈴鹿サーキットを走ったのはすごく楽しかった。来年はKV-2クラスで出場しようと思う。」



- KV-2 紀北工業高等学校 生産技術部
(1回目8分10秒045。2回目7分39秒798。総合3位、クラス優勝)
ドライバー 脇知裕さん

「すごく嬉しいです。鈴鹿サーキットを走るのが、めっちゃ病みつきになっちゃいそう。走るのが本当に楽しかった。もう卒業だけど、絶対にこれからも関わっていきたい。」



- KV-2 TechnicalSessionSMF
(1回目8分39秒755。2回目7分47秒833。総合4位、クラス2位)
ドライバー 須藤隆さん

「大阪産業大学のチームです。足回りが弱く、1回目に1コーナーで飛び出してしまいました。この車は5ヶ月かけて一人で作り、やっと今がシイクダウンでした。でも、もっと行けるはずだったのに、残念です。」



- KV-2 鈴鹿高専エコカープロジェクト
(17分58秒989。2回目22分25秒207。総合21位、クラス12位)
ドライバー 平野喜丈さん

「1リッターのガソリンで走るマイルージチャレンジやソーラーカーも同じメンバーでやっています。ぶっつけ本番の初走行だったけど、計算上は13分程度で走れるはず。それが17分もかかってしまいました。今回のデータを解析して、来年もトライしたいと思います。でも来年は上が卒業して部員が3分の1になるので、みんな鈴鹿高専の「エコカープロジェクト」に入ってください。」



- KV-2 福岡市立博多工業高等学校
(1回目33分31秒234。2回目33分57秒677。総合24位、クラス15位)
ドライバー 尼崎達郎さん

「たった4人で、フェリーで来た。4人でやるのは結構大変だった。車が心配だったけど、なんとか完走できた。僕は今年3年生で、今回のイベントで引退するから気分が入っていた。来年以降の事は考えていないけど、何らかの形で関わりたいと思う。」



- KV-2 大阪市立生野工業高校 機械工作部
(1回目23分55秒674。2回目1800m。総合30位、クラス17位)
2ndドライバー(2回目の走行を担当) 加納弘一さん

「ダンロップで止まってしまったけど、なんとか帰って来ることができた。11月に大阪万博会場で電池を使ったイベントがあるので、それに向けていい経験ができた。もっともっと速く走れるようにしたい。」



- KV-3 チーム四中工
(1回目9分27秒757。2回目7分45秒602。総合8位、クラス優勝)
ドライバー 山本大揮さん

「1回目が終わって後の差が2分近くあったので、勝てると思った。2回目は自信があった。マシン作りはすごく苦労した。来年は僕は手伝いに回るの、ドライバーは後輩に譲って、後輩に経験を積んでもらいたい。」



- KV-3 東富士エコラン同好会～女王とにぎやかし～
(1回目25分55秒852。2回目リタイア1800m。総合31位、クラス11位)
ドライバー 中山聡さん

「1回目の走行はすごく楽しかった。鈴鹿サーキットをゆっくり1周するなんてイメージがわかなくて、それにアップダウンがすごくあって、なんだかマラソンに似た感じがした。マシン名は電池で走るから最初から『ミニ四駆』しかないと考えていたけど、大きいから『でか四駆』にした。デザインもミニ四駆をイメージして作った。」



SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, ISE 510-0295, JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

EVパフォーマンスチャレンジ

【オープンクラス】

順位	No.	Team	Type	1st Driver	2nd Driver	0-200タイムアタック		S字タイムアタック		15分フルアタック		Total Point	
						Time	Point	Time	Point	Laps	Time		Point
1	10	静岡理工科大学 SFP	SFP EV	野末 浩隆	山本 健斗	9.775	30	24.880	30	9	6'27.584	30	90

【ストッククラス】

順位	No.	Team	Type	1st Driver	2nd Driver	3rd Driver	4th Driver	5th Driver	6th Driver
1	1	OSU EVプロジェクト	Spirit of OSU	相原 泰祐	佐藤 寛之	野田 衛生	塩根 大介	今井 靖	
2	2	繁原EVプロジェクト うさぎとかめ	ウミ-☆EV5	丹羽 和彦	金沢 秀好	加納 靖之			
3	4	トヨタ東京自動車大学校	TOYOTA Sports EV TWIN	菱沼 雄祐	分須 敦	福田 貞司	竹内 豊	丸山 勇太	
4	8	team TGMV EV Himiko	TGMV EV Himiko	山田 喜夫	芦田 昌和	芦田 隆			
5	5	チームIWAKI	DREAM 7 (RX-7 FD3S)	若城 博之	若城 亮介	若城 慎也	谷間 敏隆	高尾 正文	谷河 義之
6	7	中日本自動車短期大学専攻科車体整備専攻	イクワックルベッ	可知 陽之郎					
7	6	がれーじTOM	TOM'S INSIGHT	水野 友夫	桜井 利則	吾妻 豊	永田 修		
8	9	ミツバSCR+	Everyday	石倉 聡	高橋 道夫	蛭間 洋明			
9	3	ZEVEX Racing Team	ZEVEX EVセット -W	奥邨 義昭	松野 和則	中野 一	鈴木 一史	森嶋 哲司	西村 剛之

グッドパフォーマンス賞...No.7

【ストッククラス記録】

順位	No.	Team	0-200タイムアタック		S字タイムアタック		Laps	e-kiden60分		Total Point
			Time	Point	Time	Point		Time	Point	
1	1	OSU EVプロジェクト	11.550	30	27.456	30	9	5'32.4016	24	84
2	2	繁原EVプロジェクト うさぎとかめ	13.396	15	28.832	25	13	1'03'08.224	40	80
3	4	トヨタ東京自動車大学校	12.244	25	30.880	20	10	1'07'35.701	28	73
4	8	team TGMV EV Himiko	13.278	16	31.347	18	11	1'05'04.896	35	69
5	5	チームIWAKI	13.188	18	32.095	15	10	1'03'16.401	30	63
6	7	中日本自動車短期大学専攻科車体整備専攻	12.570	20	32.074	16	7	57'36.447	23	59
7	6	がれーじTOM	17.694	12	37.948	14	10	1'09'01.940	26	52
8	9	ミツバSCR+	17.550	13	42.746	13	5	31'08.366	22	48
9	3	ZEVEX Racing Team	15.335	14	D.N.S.	0	9	1'10'47.225	25	39

KV-40チャレンジ

総合順位	クラス順位	部門賞	No.	Team	Type	1st Driver	2nd Driver	Total Time	1st Sess	2nd Sess
1	KV-1 1		2	四十雀	文四郎	小堀 義明		10'32.038	5'00.683	5'31.355
2	KV-1 2		4	チーム「ヨイショット」ミツバ	HyperTESLA	齋藤 勝彦		12'38.820	6'13.111	6'25.709
3	KV-2 1		27	紀北工業高等学校 生産技術部	SPIRIT OF 紀北	脇 千裕	熊本 紀明	15'49.843	8'10.045	7'39.798
4	KV-2 2		31	TechnicalSessionSMF	EVOLTA RACER	須藤 隆		16'27.588	8'39.755	7'47.833
5	KV-2 3		32	MTB66	MOC	吉田 佑世	前川 正樹	16'48.831	8'41.956	8'06.875
6	KV-2 4		20	飯田工業高校A	Wisdom	三村 翔太		16'57.225	9'11.623	7'45.602
7	KV-2 5		15	宇都宮工業高校 科学技術研究部	UK-hope 2010	五月女 和寛	尾代 知広	18'52.857	10'02.815	8'50.042
8	KV-3 1		51	チーム四中工	Spirit of 四中工	山本 大博	水谷 省吾	19'42.055	9'27.757	10'14.298
9	KV-3 2		58	飯田工業高校B	CFR	木林 拓馬	宮内 敬浩	21'35.533	11'14.328	10'21.205
10	KV-2 6		26	長野工業高校環境システム班	S.P.E Ver.8	滝澤 亮太	飯島 清貴	26'00.281	12'44.476	13'15.805
11	KV-3 3		69	K	きみあき	上杉 佳史		28'11.364	14'16.685	13'54.679
12	KV-2 7		18	大阪府立佐野工科高等学校	SANOTECH DK02	萩森 洸貴	金丸 健太	28'30.355	15'58.016	12'32.339
13	KV-3 4		62	ホンダテクニカルカレッジ関西 EV同好会	クラウド1	上水流 勇紀	高森 裕希	28'36.744	14'39.225	13'57.519
14	KV-3 5		67	ちびインターナショナルEV部	電気ふるしき	辰巳 敦美		30'28.128	15'21.005	15'07.123
15	KV-2 8		11	堺市立堺高等学校 科学部	おさかろくん	権野 武慶	後藤 光啓	31'10.542	16'38.995	14'31.547
16	KV-3 6		66	走れ!三輪車	Aiming-	赤田 亮太		32'12.512	16'16.231	15'56.281
17	KV-2 9		29	産業技術短大 CIT-Project 1	Spirit of CIT	船倉 裕貴	田口 陽一	33'24.329	15'08.906	18'15.423
18	KV-2 10		16	高知県立高知東工業高等学校自動車工作部α	なすB	山中 拓人	清岡 周平	34'10.565	17'30.351	16'40.214
19	KV-3 7		53	伊勢工業高校 電気技術部	ID-5	大山 喬史	大山 佳正	34'43.999	16'27.393	18'16.606
20	KV-2 11		14	愛知工業高校 化学工業科	白虎 (クワイ)	松下 直樹	小藤 了輔	38'50.982	20'57.937	17'53.045
21	KV-2 12		30	鈴鹿高専エコープロジェクト	ま〜くんSP	平野 喜丈	前川 雄	40'24.196	17'58.989	22'25.207
22	KV-2 13		25	刈谷工業高校	A2C	石川 敦	村上 広大	42'39.232	22'40.588	19'58.644
23	KV-2 14		13	大阪府立茨木工科高校 機械研究部	クワイクルβ	声分 大貴		46'51.961	23'33.515	23'18.446
24	KV-2 15		28	福岡市立博多工業高等学校	白	尾崎 達郎		1'07.28	33'31.234	33'57.677
25	KV-3 8		52	大阪府立藤島工業高校 NYレーシング	ツクッパ-α 中西	中西 優介	勝木 崇文	1'17.58	38'17.300	39'40.739
26	KV-3 9		56	桑名工業高等学校3年4組課題研究	課題研究車両5号	長島 謙太			37'38.491	4.800m
27	KV-3 10		54	王寺工業 エネわん! Project	王工 Iわん! CAR	藤井 昭	岡山 祥大		26'25.109	3,000m
28	KV-2 16		23	大阪市立生野工業高校 機械工作部	疾風	加納 弘一	倉成 駿介		23'55.674	1,800m
29	KV-3 11		65	東富士エコー同好会〜王女とにぎやかし〜	でか四郎	山中 聡			25'55.852	1,800m
30	KV-1 3		8	PROJECT MONO ◇ TTDC	MONO-XX	中島 亨			6'43.525	1,600m
31	KV-3 12		55	三重県立津工業高等学校 機械研究	Load Star	前田 翼			26'41.789	1,600m
32	KV-2 17		34	PROJECT MONO ◇ TTDC	MONO-X	守屋 史之			8'48.646	1,000m
賞典外1			3	金匠+プリン	e-kimuchi	伊藤 誠野	古橋 豊樹		1,800m	9'42.026
賞典外1			7	中日本自動車短期大学	ミル〜スワグ	受本 裕史			4,600m	10'00.245
賞典外2			33	東山EcoProject	Swallow	田辺 竜一			1,200m	12'50.079
賞典外3			61	大阪市立生野工業高等学校 電気科	ツルギターボEV	高尾 勇也	西原 淳史		800m	17'57.519
賞典外3			59	愛知県立豊橋工業高等学校 機械部	龍閃 (リョウせん)	渡辺 裕光	荒木 成斗		800m	18'00.911
賞典外3			60	大阪府立西野田工科高等学校 機械研究部 A	ツクッパβE-5	山口 勇樹	田中 義彰		1,200m	27'52.289
賞典外1			1	関市立関商工高等学校	SS EM	長縄 和貴			800m	31'41.569
賞典外3			68	Team OpenStar with Prince	Prince-World	高市 哲志	田中 優樹		1,200m	3,200m
賞典外3			70	PROJECT MONO ◇ TTDC	MONO-Xβ3	辻 健太郎			5,400m	1,800m
賞典外2			17	高知県立高知東工業高等学校自動車工作部β	桃色珊瑚EV	岡林 貴志	大地 隼仁		1,800m	1,800m
賞典外3			63	長野県工短短期大学校	ドリーム(Dream&Peace)	征矢 昌巳	大塚 翔太		1,800m	1,800m
賞典外2			21	伊勢工業高校機械部	GReeN KV-40	西川 大聖	藤田 祥大		1,600m	1,200m
賞典外1			9	AIT Challenge Project	AIT-NKE	安田 達弘			1,200m	1,200m
賞典外2			12	伊賀白鳳高校 未来Factory	KUNAI	中村 周作			1,800m	出走せず
賞典外2			19	松本工業高校原動機部	春雨F	山崎 攻	内田 翔太		1,800m	出走せず
賞典外2			24	Challenger TOMIKO	疾駆	堀井 駿平	黒田 悠司		1,600m	出走せず
賞典外2			22	松陵工業高校機械研究クラブ	SKDDM-VEN	伊藤 謙太	鈴木 拓		1,200m	出走せず
賞典外3			64	Team O.C.T	チアキック2号	釋迦堂 巧	林 愛哲		1,200m	出走せず

グッドパフォーマンス賞...No.52

オリジナル賞...No.53

...高校生部門

...大学・高専・専門学校部門 1位

...一般部門 1位

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733



ピットビル2階で行われた参加受付
書類検査や自動計測装置(トランスポンダー)貸出しなどが行われました



EVクラスの車検は各ピットへ技術委員が出張して行われました



ホームストレートで行われたEVクラスの0-200mタイムアタック



S字コーナーから逆バンクセクションを使って行われた
EVクラスのS字タイムアタック



EVオープンクラスの15分間フルタイムアタック
静岡理科大学SFP一台での走行となりましたが、
さすがのパフォーマンスを見せつけました



EVストッククラスの60分間のロングディスタンス走行
5回のピットインと各ピットインでの3分間停止が義務付け

PICK UP 1

当日は、経済産業省 中部経済産業局 補助事業として
"工学系学生のための「よくわかる次世代自動車講座」(第1回:コンバートEV1日講座)"が
開講され、EV製作のエキスパート企業 株式会社東京オールアンドデーによる実車解説を
含んだ講義が行われました。



SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733



KV-40クラスの手検は車検場で車両のチェックと
装備品の検査も行われました



ピットビル2階ホスピタリティラウンジで行われた
KV-40クラスのブリーフィング
競技団や事務局からの説明や注意事項の確認が行われました



KVクラスタイムアタック時にはコース間際まで入れる
「激感エリア」を設定 写真はS字コーナー



最大の難所 7.8%の登り勾配が各チームを苦しめた
ダンロップコーナーにも激感エリアが設定され、見所となりました



さまざまなスタイルのマシンが夢を乗せて鈴鹿を疾走しました



KVクラスタイムアタックスタート時には、
鈴鹿サーキットクイーンがフラッグで合図を出しました

PICK UP 2

マシンはもちろん、チームクルーも鈴鹿初心者が大半。
大会にさきがけ、6月13日(月)には鈴鹿サーキットで試走会が行われました。



SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733



イベント開始前にコースを歩いて下見
国際レーシングコースを体感していただきました



ピットビル2階ホスピタリティラウンジで行われた開会式
大会会長である大島裕志モビリティランド取締役社長のご挨拶



お昼のインターバルにピットロードで実施された全チーム撮影会



鈴鹿サーキットが製作したKV-40デモマシンを使って
車両の説明と試乗会が行われ、人気を呼んでいました



国際レーシングコースをバスで走行
先着50名のお客さまにお楽しみいただきました



ピットビル2階で行われた「モータースポーツギャラリー」
写真はF1ドライバー小林可梦偉選手のコーナー



「モータースポーツギャラリー」には
エコラン競技用マシンも展示されました



伝統の2輪レース「マン島TT」に日本車として初参戦、
5位に入賞した電動バイク「Prozza零TT1」がピットに展示されました

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733



ルマン24時間レースを制覇した「マツダ787B」を模したカラーリングで挑戦したのは大阪市立都島工業高校チーム



こちらはマクラーレンF1イメージで速さをイメージ刈谷工業チーム



ピットで参加者からの質問などに笑顔で応えていた株式会社ミツバのスタッフの皆さん



「エコランマシンを改造してKV-40にコンバートできるので面白い」そんな声も多く聞かれました



バス走行をお楽しみいただいていた親子連れのお客さまは長野から地元高校チームの応援に駆けつけました



マシン名はずばり「でか四駆」 笑顔の絶えないチームでした



愛知県立豊橋工業高校チーム
みんな機械いじりが好きでたまらない様子



渋く作業を決めていたのはKV-3クラス総合3位(一般部門1位)を獲得したKのチームマネージャー

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733



最終チェックに余念がない中にも笑顔でピース
鈴鹿高専エコカープロジェクトチーム



きれいな仕上がりの産業技術短大 CIT-Project 1チーム
KV-2クラス大学・高専・専門学校部門を制しました



真剣な表情でディスカッションするのは大阪府立生野高校チーム



手作り感満載のマシンで挑んだ松阪工業高校チーム



EVストッククラスを制した
OSU EVプロジェクトのウィナーズインタビュー



EVオープンクラス覇者 静岡理科大学SFPスタッフの笑顔



KV-2クラス1位の紀北工業高校チーム
第1ドライバー脇 千裕選手会心の笑み



KV-3クラス1位は地元 四日市中央工業高校の「チーム四中工」

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

真剣な表情、一生懸命な横顔、ひたむきな眼差し・・・
各チームの拠点、ピット内外では夢に向かって力を合わせる姿があふれていました。



SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, ISE 510-0295, JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

【公式プログラムで協賛各社】



A4 カラー/モノクロ 24p 1,000部発行

株式会社サンゲツ 住友電装株式会社 株式会社第三銀行 株式会社トーエネック	中村特殊印刷工業 株式会社長谷川建装 パナソニック株式会社 株式会社ホンダ四輪販売三重北	株式会社三重銀行 株式会社ミツバ
--	---	---------------------

【サーキットビジョンで協賛各社】



株式会社第三銀行	パナソニック株式会社	株式会社ホンダ四輪販売三重北	株式会社三重銀行
----------	------------	----------------	----------

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

【ゼッケンロゴ表示】



パナソニック株式会社

【スポット看板ご掲出】



株式会社ミツバ

【副賞ご協賛】



KV-40チャレンジ…パナソニック賞



EVパフォーマンスチャレンジ…ミツバ賞

パナソニック株式会社
株式会社ミツバ

PICK UP 3

パナソニック充電式電池EVOLTAで数々の記録を打ち立てた「エボルタ君」を「モータースポーツギャラリー」に特別展示、注目を集めていました。



PICK UP 4

ピットビル2階ホスピタリティラウンジに設けられた「パートナーズラウンジ」。パートナー各社関係者様におくつろぎいただきました。会場にはKV-40総合優勝を果たした「四十雀」の同型マシンも展示され、注目を集めていました。



SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733



【映像】

- ケーブルネット 鈴鹿 …… ニュース取材
- J SPORTS …… クルマ番組「車輪倶楽部」取材
- 信越放送 …… 飯田工業高校チーム密着取材

【紙誌面】

- 中日新聞
- 朝日新聞
- 毎日新聞
- 読売新聞
- 伊勢新聞
- 東京中日スポーツ
- スポーツ報知
- 江東区報
- JAFスポーツ
- GSユアサ社内報
- 芦屋大学広報
- 大阪産業大学広報



【ウェブ】

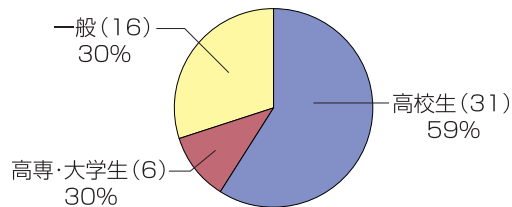
- Car Watch
- Ascii Web



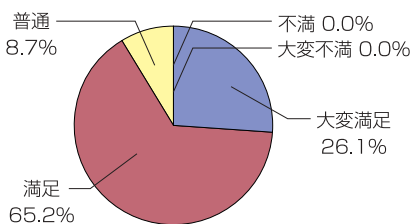
KV-40チャレンジ

参加チーム内訳

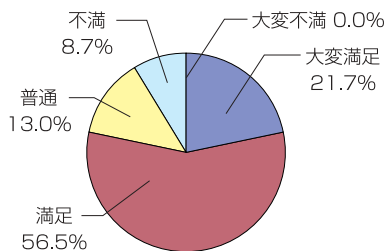
高校生	31
高専・大学生	6
一般	16
計	53



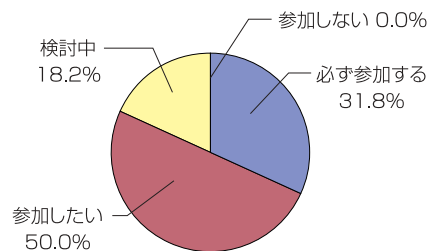
「2011 Ene-1 GP SUZUKA KV-40 チャレンジ」の総合的な評価



KV-40 チャレンジ走行イベントについて



来年度の「Ene-1 GP SUZUKA」への参加意向



ご意見抜粋

● 総合評価・走行イベントについて

- ・電気自動車の入門として良いと思った。
- ・進行もスムーズで楽しく参加させていただきました。
- ・鈴鹿サーキットフルコースを走行できたから。また鈴鹿サーキットの独特の雰囲気を味わうことができたから
- ・日本一といえるサーキットを会場としつつ、電池が入手しやすく参加へのハードルを低く設定しているが、やはり技術力が左右するという立派なコンペティションになっていること。
- ・事前情報もしっかり告知され本番も滞りない運営でした。
- ・受付を前日からしていただいた点、メールやWebにて情報発信してくれた点など
- ・本場のサーキットをエコカーで走れてよかった。
- ・進行がスムーズでよかったと思います。
- ・運営もスムーズで、よかったように思います。
- ・とても楽しかったです。

● 来年の参加意向について

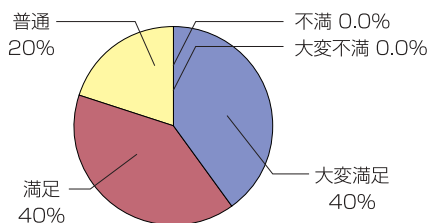
- ・楽しかったから参加したい。
- ・生徒たちは大変喜んでいました。
- ・本校の年中行事にしたいから。
- ・フルコースのタイムアタックは魅力的。
- ・ドライバーが非常に出たいと言っています。
- ・今年の無念を晴らしたい(2ndアタックでリタイア)
- ・コースの全体像もユー 스트リーム映像やその他のチームの車載画像で把握でき、来年度は2ndに出場したいため。

● その他、ご意見・ご要望

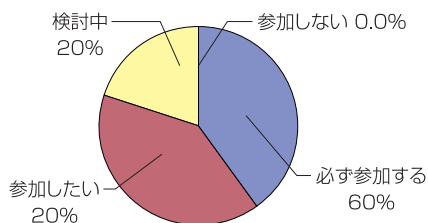
- ・1回目と2回目の間の時間がもっとあったほうが良いとおもった。
- ・お疲れ様でしたありがとうございました。
- ・是非とも来年も継続してください!また、本アンケートを元に大会が改善されることを期待しています。

EVパフォーマンスチャレンジ

「2011 Ene-1 GP SUZUKA EVパフォーマンスチャレンジ」の総合的な評価



来年度の「Ene-1 GP SUZUKA」への参加意向



ご意見抜粋

- ・仲間がEVのイベントに飢えている。中部地区で唯一の大会となっているので、EVを発展させたい。
- ・EVに課せられた命題にチャレンジする意味のある競技であると思う。

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733